

森下さち子

2017年9月
和歌山市議員団
TEL(435)1113
FAX(421)4181

核兵器禁止条約実現

広島と長崎に原子爆弾が投下されてから72年経った今年の7月7日、国連会議において、国連加盟国の約3分の2である122カ国が賛成し『核兵器禁止条約』が採択されました。被爆者と世界の人々が長年にわたり熱望してきたものです。

この条約は、開発、生産、実験、取得、保有、貯蔵、使用とその威嚇に至るまで、核

兵器に関わるあらゆる活動を禁止し「抜け穴」を許さないものとなっています。さらに、核保有国に対し、条約への参加の道を規定するなど核兵器完全廃絶への枠組みを示したという点でも画期的ではないでしょうか。

この歴史的な条約採択を契機に新たな思いで「核兵器のない平和で公正な世界」の実現へ歩みを進めましょう。



暑さ厳しかった夏も終わりを告げ、夜は秋の虫が響くようになってきました。子どもたちも新学期を迎え、

新たな気持ちで日々を過ごしているでしょうか。和歌山市も9月議会がもう間もなく始まります。議会はもちろん、何かと行事の多い秋に向けて、取り組みます。どうぞ、引き続き、ご意見ご要望をお寄せください。

9月定例市議会

9月11日から定例市議会が開会予定です。今回も5人全員が質問に立ちます。ぜひ、インターネット中継でもご覧下さい。

無料法律相談

津秦 森下さち子事務所にて
9月12日(火) 13:00~
9月25日(月) 18:00~
事前の予約をお願いします
共産党市議員団控室
電話 435・1113



毒を持つヒアリに注意と聞いて驚いたのもつかの間。先日は、かつて山里に生息していたマダニが、都市部など人間の生活圏に現れてきているという特集を観ました。

マダニは猫や犬などペットにとりついて、血を吸うだけではなく、SFTSウイルス(重傷熱性血小板減少症候群)を保有していれば、人間にも感染し死に至ることもあるとか。犬を飼う我が家は他人事とは思えません。アライグマ、イノシシ、ハクビシンなどの野生動物が人里へ下り、野良猫などに付いて広がったことが原因です。マダニは刺しても痛みがなく気付かないこともあるので、野外で活動した後は必ずお風呂で全身をチェック、見つけたら慌てて取ろうとせず、皮膚科など医療機関を受診し専門家に取り除いてもらうことが必要だそうです。みなさんも野外活動にはくれぐれもお気をつけ下さい。



原やすひさです

演説といえば、街頭での演説がいちばん難しい、というのは経験したのなら誰しも思う。不

特定多数の無関係な人びとに向かつて、しかも一方的に話をするのだからこれほど難しいことはない。聴きたくない人にとってはそもそも迷惑なことだろう。そんな人びとを含めて不特定多数に話しかけるのだから骨が折れる。だから、多くの人びとが関心をもっていろいろ話すのが常道だ。こちらの言いたいことと、人びとが関心をもっていることとはなかなか一致するものではない。そこをどう語ってゆくか、冷や汗をかきながら毎回やっている。だけど、なんといっても大事なことはハートである。ころのない演説はこころに響かない。

公立保育所・幼稚園についてのアンケート「中間報告」

2015年から「子育て3法」による子ども・子育て支援新制度が始まりました。これを受けて、和歌山市は「市立認定子ども園整備計画」を進めようとしています。この計画についてのアンケートを今年の3月から8月にかけて行いました。

知っていますか??
保育所と幼稚園が
減ってしまうことを!!

いままですら自転車で通ってたけど、園が遠くなるなあ...雨の日も大変!!

短期と不安定な仕事だから助かる☆

集団生活に慣れて小学校に上がったら安心☆

150~170名の定員になるって聞いたけど...うちの子ゆっくりさんやから少人数の園でじっくり見てもらいたいんですけど...

いろいろな不安...何ががうのか聞きたいなあ...

【保育所と幼稚園が同じ施設にある】
 たとえば...
 1つの園のなかで、14時までは幼稚園モード(カリキュラムに沿った小学校準備など)、14時以降も保育が必要な子どもたちは園に残り保育所モードに切り替わる。(0~2歳は保育のみ)

16カ所に統合
認定子ども園に! (サテライト園含む)

いまある、公立保育所(21カ所)と公立幼稚園(13カ所)が、

そんなに減らして大丈夫なの?!

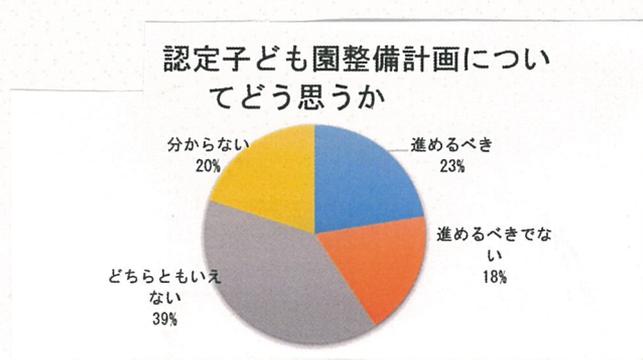
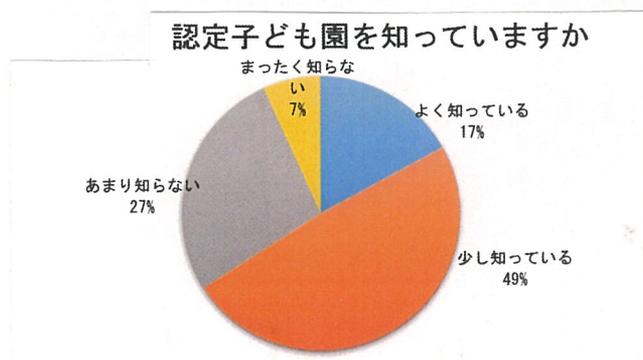
※サテライト園とはしばらくは、入所可能だがあくまで附属予定の園

※配布 4000 枚。7 月末現在の回答数は 133 です。

市の計画を知らない人が多い

新たにできた制度である「認定子ども園」について知っていると答えた人は全体の 66 %ですが、市が公立保育所と幼稚園を統合し全体の数を減らす計画については「分からない」、

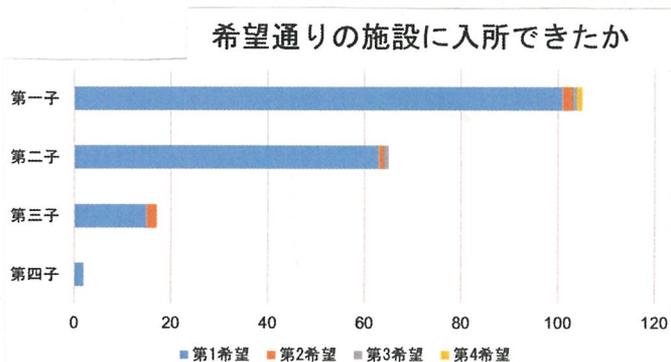
「どちらとも言えない」と答えた人が 59 %、進めるべきでないと感じた 18 %を合わせると、80 %近くを占め、周知されていないこと、納得を得られていないことが浮かび上がりました。



また、自由記載欄には様々な意見が寄せられ、市の計画に対する意見をはじめ、現在の保育内容や体制など、要望や不安が多いことが分かりました。

待機児童をなくすために

希望する保育所に入所できているかどうかをたずねる項目では、おおかたは第 1 希望で入所できているものの、第 3、第 4 希望の入所が少なからずあること、さらに自由記述欄では 4 月入所ができなかった、あるいは兄弟姉妹が別々の保育所に通うことの大変さなどの回答がありました。



市は昨年(2016)の 10 月 1 日現在で待機児童が 261 人と公表したことから、待機児童対策は今後ますます、必要になると考えられます。従って、公立保育所や幼稚園を統廃合するのではなく、現在の建物の耐震改修を進め、保育士を確保し希望する保育所にいつでも入れるという状況にすることが市の役割だと言えるのではないのでしょうか。

このアンケートの取り組みについては中村あさと議員が 9 月議会で取り上げる予定です。